

抗生物質・抗菌薬について

風邪と診断されて、処方箋をもらって気になった事はありませんか？

Q. 先生も風邪でしょう、と言っていたけど…抗生物質がでていないのは、何でかな？



A.
風邪の症状はウイルスによるもの：抗生物質(抗薬菌を含む)は、ウイルスには効きません。
抗生物質が効くのは、細菌による感染症だけです。



以前はウイルス性の風邪に伴って体力が低下し、肺炎になるといけない…という考え方から抗生物質が頻繁に処方されていました。しかし、風邪の諸症状(咳、喉の痛み、発熱)は、安静にして体力が回復する事で消えるもので、抗生物質は役立っていません。治る時期がぴったりと合うことが「抗生物質を飲んだから治った」という誤解を生み、それが広く「風邪に抗生物質が効く」と思われてしまう状況になってしまいました。

安易な抗生物質の投与は、各種細菌と抗生物質が「触れ合う」機会が増え、細菌自らが薬で死滅しないように進化する力を身につけた＝**耐性菌**が生まれやすくなる環境になってしまいます。最悪の場合、「効く抗生物質がまったくない細菌」が生まれ出てきてしまう危険性があります。

現在、**世界的に「耐性菌を生み出さない」「耐性菌を広めない」**事が求められています。風邪症状には抗生物質を処方せず、また「細菌感染が証明できない状態」での抗生物質の処方ほしないようになりました。

(みどり病院/薬剤師/今西 正人)



<お願い>

- 風邪予防(睡眠をしっかりとる、手洗い・うがいの励行)
- 風邪をひいた時のエチケット(咳、くしゃみで飛び散らさないようにマスクを着用)
- 抗生物質・抗菌薬が処方された場合は、量と期間を守る。

※分からない事がありましたら、悩まずに、医師・薬剤師へご相談ください。